

アール・ブリュットの総合的な振興について

【提案先】文部科学省、厚生労働省

1. 提案内容

(1) 我が国のアール・ブリュット振興拠点づくり

- 我が国のアール・ブリュットを振興するため、美術館機能や相談支援機能、人材育成機能を担う拠点づくりの推進

(2) 作品の芸術性を評価する人材の育成および調査研究の実施

- 美術館学芸員等に対する研修の実施、美術専門家による作品評価および評価手法の開発など調査研究の実施

(3) アール・ブリュットネットワーク構築の推進

- アール・ブリュットネットワークへの参画、幅広い分野の研究者の連携促進に向けた助言・参画など、本県と連携した取組の実施

2. 提案の理由

- アール・ブリュットは、従来の価値基準を超えて芸術の可能性を広げるとともに、人びとの関わりを広げ、様々な分野を結びつけるものと期待される。
- 作家の多くが障害のある人であり、新たな自己実現の手だてや立つ瀬としての可能性を持つ。
- 国においては、障害者による芸術活動支援に本格的に乗り出され、平成26年度予算概算要求において、障害者の芸術作品の調査・発掘や美大学生等の福祉施設等へのインターンシップ派遣、作家や造形活動を行う福祉施設等を支援する拠点づくりを計画されており、本県としても積極的に取り組んで参りたいと考えている。総合的な支援拠点が形成されるように、取組を推進していただきたい。
- さらに、こうした施策の推進にあたっては、幅広い分野の関係団体等との連携を進める必要がある。本県が呼びかけ、全国から580団体・個人の入会のあるアール・ブリュットネットワークに参画いただき、連携した取組を進めていただきたい。

